



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育なう

No.1

2024年4月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111〈内線 208〉

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

「家庭教育なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード→



子育て・親育ち通信「家庭教育なう」は、 家庭教育学級に携わる皆さんを応援します！

昨年度、中学校の家庭教育学級で「いのちの授業」に参加した生徒の感想です。

「私がこれから夢を叶えて幸せな人生を送っていくために、誤った道に進まないよう正しい知識と、すべき行動を教えてもらった。講師の先生が真剣にわかりやすく話してくれたので、こっちも真剣に話を聞くことができたし、幸せに生きていくための術を受け取った。(中学3年生)

子どもたちが、自分らしく、少しでも豊かな人生を歩むことができるように、保護者、先生、地域の皆さんが一体となって、家庭教育を推進、ご支援いただいています。

その家庭教育推進のリーダーとなる家庭教育委員長・PTA役員をはじめ、『家庭教育学級』に携わる皆さんを応援するために、通信『家庭教育なう』をお届けしています。

東濃5市(多治見・瑞浪・土岐・中津川・恵那)で実践された『家庭教育学級』『乳幼児学級』の様子や、子育てのヒントになる情報を提供していきます。子育て・親育ちのために、力を合わせて「学びのある家庭教育学級」をつくっていきましょう。

家庭教育学級とは

役割

親の学びの場 親同士の交流の場 親子の交流の場

対象者

子育て中のすべての保護者

目的

「親の愛情を実感し、健やかに成長すること」(子ども)
「子どものおかげで人生が豊かになったと感じながら子育てに向うこと」(親)

5つの開催形態

- ① 学校行事参加型・・・授業参観、PTA活動などの行事の時に開催
- ② 体験活動参加型・・・料理、手芸、ヨガ、親子体操などの体験活動講座
- ③ 講演会型・・・テーマに即した講師による専門的な講演
- ④ 子育てサロン型・・・小グループで互いの経験や子育ての交流 ※お勧め
- ⑤ 在宅取組型・・・「わが家の約束」運動など、各家庭での取組

令和5年度家庭教育学級実施調査にご協力いただきありがとうございました

(以下のグラフは昨年度の調査を含めた過去5年間の集計結果です)

【家庭教育学級 参加者の推移(参加率)】

参加者数は幼・保・こども園は増加しましたが、小中学校は減少となりました。参加率は園、小、中ともに減少しました。コロナ禍が明けて、家庭教育学級も体験参加型が増えました。体験参加型の家庭教育学級は、参加する保護者の人数が限定的となり、参加率は下がったと予想しました。ただ、オンラインでの参加など、参加しやすい工夫も行われています。

令和5年度 家庭教育学級実施調査の結果 経年変化

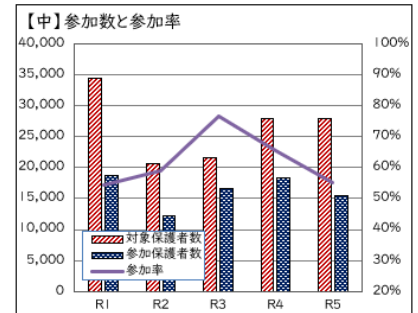
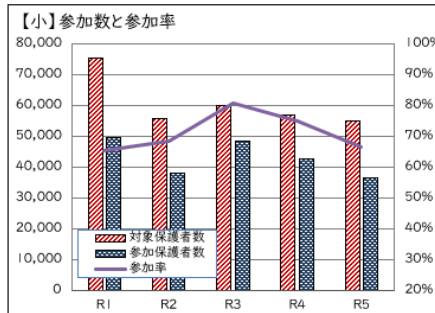
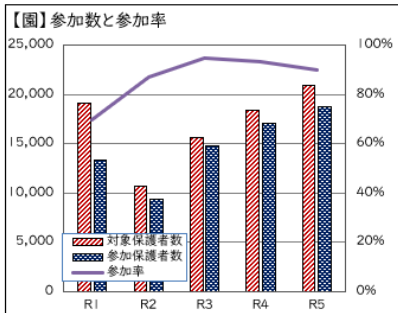
【東濃版】

1 参加者の推移

園	R1	R2	R3	R4	R5
延べ開催数	303	200	350	411	483
対象保護者数	19,131	10,686	15,638	18,338	20,902
参加保護者数	13,355	9,303	14,765	17,096	18,790
参加率	70%	87%	95%	93%	90%

小学校	R1	R2	R3	R4	R5
延べ開催数	445	242	392	354	337
対象保護者数	75,427	55,700	59,971	56,889	55,033
参加保護者数	49,457	38,255	48,403	42,797	36,549
参加率	66%	69%	81%	75%	66%

中学校	R1	R2	R3	R4	R5
延べ開催数	188	104	147	167	180
対象保護者数	34,503	20,727	21,698	27,973	28,028
参加保護者数	18,703	12,221	16,650	18,379	15,510
参加率	54%	59%	77%	66%	55%



【「話そう!語ろう!わが家の約束」運動取組状況(実施した園、学校の割合)】

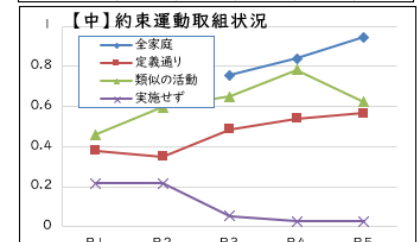
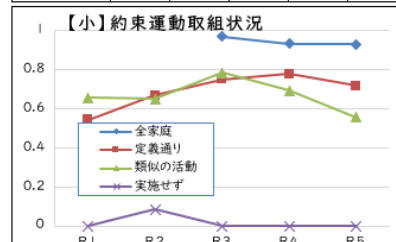
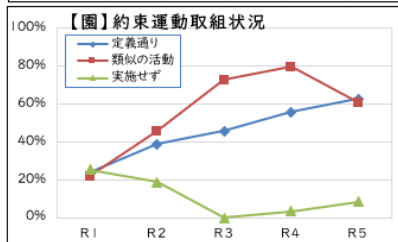
「話そう!語ろう!わが家の約束」運動(類似の取組を含む)の実施割合が、毎年高くなっています。東濃地区では、小学校では、すべての学校が取り組んでいます。中学校で取り組んでいないのは数校です。実施した園の割合が高くなってきたのは、生活習慣や学習習慣を高める在宅取組等が家庭教育支援であるという認識が高くなってきたためと思われます。

2 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動取組状況

園	R1	R2	R3	R4	R5
全家庭					
定義通り	24%	39%	46%	56%	63%
類似の活動	22%	46%	73%	80%	61%
実施せず	25%	19%	0%	3%	8%

小学校	R1	R2	R3	R4	R5
全家庭			97%	93%	93%
定義通り	54%	67%	75%	78%	71%
類似の活動	66%	65%	78%	69%	55%
実施せず	0%	8%	0%	0%	0%

中学校	R1	R2	R3	R4	R5
全家庭			76%	84%	95%
定義通り	38%	35%	49%	54%	57%
類似の活動	46%	59%	65%	78%	62%
実施せず	22%	22%	5%	3%	3%



調査結果の一考察 ～以下の3点に心がけて、家庭教育学級を推進～

- 1 保護者が参加しやすくなる工夫
時間帯、オンライン、楽しそう?必要感?一緒にやりましょう・・・と誘う声かけ
- 2 保護者同士のコミュニケーションを増やす工夫
子どものつながりと親のつながり、どちらもあればより心豊かな自己実現につながる
- 3 企画する皆さんの負担感を減らす
負担感をやりがいへ、子どもたちの笑顔のために、家庭教育なくして健全な社会環境なし

県の家庭教育推進事業のお知らせ

1 令和6年度 家庭教育学級リーダー研修会(再掲)

基本的には、どの園、学校からも家庭教育委員長(保護者代表)と園、学校職員(家庭教育担当)の2名以上の方のご参加をいただいています。(昨年度、小中学校から不参加は1校のみでした)各市教育委員会(生涯学習課)、家庭教育担当より各園、学校宛より案内・申し込みが届きます。4月末日までに、各市担当課まで申し込みください。会場と日程は以下を参照願います。

期 日	開催市	会 場
5月15日(水)	土岐市	セラトピア土岐 小ホール
5月16日(木)	中津川市	苗木交流センター ホール
5月22日(水)	瑞浪市	瑞浪市総合文化センター視聴覚室
5月27日(月)	多治見市	とうしん学びの丘エール
5月31日(金)	恵那市	恵那市消防防災センター 3階研修室

(どの会場も、10時より幼保の部、14時より小中の部を実施します。)

研修内容は、二部構成です。前半では、岐阜県の家庭教育推進のための情報や、東濃地区の家庭教育学級実践についてお伝えします。後半では、市の家庭教育担当者からのお話、参加者の実践についての交流会となります。

家庭教育学級リーダー研修会 オンデマンド事前研修用
動画配信のお知らせ(岐阜県環境生活課生涯学習係作成)



岐阜県では「家庭教育って?」「家庭教育学級って何をしたらいいの?」など、家庭教育や家庭教育学級について学ぶことができるように事前研修用動画(YouTube)を配信しています。

動画は下記のQRコードよりアクセスでき、3月~5月の間、視聴できます。令和6年度の家庭教育学級リーダー研修会に参加する前に、自宅等にてご覧ください。当日の研修がより有意義なものになると思います。

オンデマンド研修 令和6年3月~5月(期間限定)

<主な内容>

家庭教育・家庭教育学級のねらい

家庭教育学級の在り方



<https://youtu.be/0Ou6R9tQ9ek>

2 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動(GW中の生活づくりにも活用できます)

【目的】子ども達の健やかな成長のために、家庭内のコミュニケーションを深めること

- ①家族で話し合って「わが家の約束」を決定する
- ②取組を実践カードに記録する
- ③実践後、家族で互いの思いを伝え合う
- ④次の約束を話し合う

※県では、実践カードをHPで紹介しています。→

※実践例

家庭学習週間 あいさつ週間 家族読書
親子クッキング 一家庭一実践
わが家の防災会議 等

「みんなで家庭教育」
をクリックしてね!



多治見市役所駅北庁舎3階親子ひろば 子育て情報 ぽかぽか広場「そのまま、まるだよ」



訪問日時 令和6年3月21日(木) 14:30~
場所 多治見市役所 駅北庁舎 3階
運営 NPO法人「まあーる」



ここは、子ども(0~3歳)が楽しく遊べて、ママがホッとできる場所!



この日もたくさんの親子が思い思いに活動していました

多治見市では「親育ち4・3・6・3たじみプラン」のもと、子育ての施策を各課、連携して進めています。この多治見市役所駅北庁舎に子育てに関係する各機関が集まっています。その一画にあるのが「駅北親子ひろば」(多治見市地域子育て支援拠点)です。このひろばは、通称「ぽかぽか広場」。0~3歳の未就園のお子さんとその保護者(パパ・ママ・おじいちゃん・おばあちゃん等々)が気軽に遊びにいけないところです。

広場には、スタッフ2名が常駐し、時には「ママスタッフ」(ご自身のお子さんを連れたスタッフ)もみえます。未就園児の子を育てる同じ立場として、子育て中の保護者に寄り添い、相談にのったり、活動を見守ったりしてもらえます。多治見市の委託を受け、この「ぽかぽか広場」の運営をしているのが、「NPO法人まあーる」です。

今回は、このたくさんの利用者が訪問する秘訣を、代表理事の佐藤薫さん、理事の清水直美さんに伺いました。

Q「今日もたくさんの利用者でにぎわっていますが、今年度の利用者数はどのくらいですか。」

A「2月は、のべ1,824人(子ども970人、保護者814人)、年間約18,000人以上の方が利用されます。」

Q「これだけ多くのおみなさんに利用されるようになった秘訣を教えてください。」

A「子どもが安心して遊べる場所で、親がホッとできる場所になるように心がけて運営してきました。親と親をつなぎ、母親同士かかわる機会が自然にできるところを目指しています。そんなつながりを皆さんが心地よいと感じてくださっているのではないのでしょうか。」



Q「何名の方がスタッフとして活動してみえますか。」

ぽかぽか広場の一画には自然発生的に語らいの場が↑

A「現在14名のスタッフで活動しています。仲間になってくれるのは、以前利用者として、ここに来たママさんたちです。『今度は自分が子育てするママさんたちの力になりたい。』という思いがつながり、連帯の輪ができました。」

【ひろばのねがい】

ぽかぽか広場に集うことで
まあーるの輪ができたり
心がまあーるくなったらいいな

こどもは そのままで まるだよ
おかあさんだって そのままで まるだよ
おとうさんだって そのままで まるだよ
人は人の中で 生きていくもの
みんなで 支え合って
育ち合えたら いいな



【このよさを学びたい!】

・代表理事の佐藤さんは、最初はこの広場の利用者だったそうです。自分の子育てを親身になってサポートしてもらったことが心に残り、今度は自分が支援したいとの思いを強くされたそうです。活動の原動力を「『恩返し』かなあ。」と話してみえました。自分の子育てを支えてもらった感謝の気持ちを、「今度は自分が子育てするママさんたちを応援したい」という思いに変えて、運営してみることがわかりました。